



市民と行政の協働によるまちづくり

平成19年度市政懇談会

意見・質問



5月10日から10月28日まで、市内33会場で平成19年度雲南市市政懇談会を開催しました。

懇談会では、市から市政の状況や財政状況を説明し、みなさんから幅広くご意見、ご提案をいただきました。

ここでは、懇談会へ寄せられたご意見やご提言、質問や回答について、まちづくり施策ごとに紹介します。

(一部抜粋)

Q 神楽や神話が有名な地域なので、それらを中心に、人の感性に響く

地域づくり

ような地域づくりをしていけば、お金をかけなくても、市が発展し、人口増が望めるのではないのでしょうか。

Q 掛台の小学校統合後、廃校の使い方について、体育館、便所を使いたいと思っています。グラウンドも自由に使いたいです。

A その地域でどういう活用をした方が良いか意見をまとめていただき、協議をしてみたいです。協議された内容が実施可能になるよう考えていきます。できるだけ早く、地域の考えをまとめていただきたいと思います。

定住対策

Q 定住対策について、具体的な数値目標、年次計画がありますか。数値目標があれば目標達成のためにどういう取り組みをしていますか。

A 具体的な数値目標はありません。10年後には40,000人を割る



人口推計ですが、総合計画では45,000人の横ばいを目標としています。定住対策の実績としては定住推進員2名を配置して、平成17年度、18年度で市内移動の方も含めて、51世帯、114人の方に定住していただきました。人口増への対応は優先プロジェクトとしてしています。今年も定住推進協議会を発足し、市内の事業所、団体の横断的な取り組みを展開する予定です。都内で雲南市のPR活動として「食と農」をテーマにイベントも行います。将来的にはコミュニティビジネスへの発展も期待できます。

Q 企業誘致で雇用の場を作ったらそちらへ労働力が流れ、地元の企業が人手不足になります。地場産業の育成とどうバランスをとりますか。夜の人口(定住人口)を増やす施策が大切だと思います。

A 夜の人口を増やすには「雇用の場の確保が第一」という声を聞きませんが、企業を誘致しても必ずしも若者は地元では働きません。若者の定住には家庭教育が第一だと思います。家族も一体となつて子どもに「雲南市に残ってほしい」と意識づけることが大切です。市民みんなが努力しないと人口増に繋がりません。

防災

Q 自主防災組織についてアドバイスしていただける話があればお願いします。

A 今年度から、「雲南市ブランド化プロジェクト」を進めています。雲南市には様々な魅力があり、それをあらわす「幸運なんです。雲南です。」というロゴを発表しました。すばらしい町であるという情報を発信できるような企画しています。お金がなくてもソフトで訴えていく知恵を、工夫をいたしますので、ご提言をよろしくお願ひします。

Q 6、7年後には三刀屋三次間が開通しますが、インターチェンジがある町は無策であればストロー現象が顕著になります。市総合計画にもありますが、早めにブランド化などの戦略を練ってほしいです。

A 雲南市へ来てもらえるような雲南ブランドの確立が大切です。皆さんの力も借りて、雲南市の魅力を発信していく考えです。

Q 今後の公民館のあり方をどのように考えていますか。

A 自主組織を運営するにあたり拠点施設が必要で、公民館は、社会教育の推進の拠点でしたが、これに加えて今後は、地域活動の拠点としても位置づけることが必要と考えています。



A 自主防災組織と市とが一緒になつて主に避難訓練を行っています。市からの指令を受けて住民がどのような行動するかを協議して対応しています。

行財政

Q 現在の縦割行政では能力のある職員が生きがされず、自分の仕事を時間内でやればよいという発想では進展はないと思います。提案制度などがあれば職員も給料以上に頑張るといふ意識ができるのではないのでしょうか。

A 本来そうした意識改革することが大事であり、この合併などの機に意識を変えていくべきと考えます。研修等を通じて意識改革を促します。

Q 雲南市政改革大綱に基づいて集積改革プランについて現状が見えてきませんが、実際の進捗状況を具体的に教えてください。

Q 地域振興補助金の使い道について、地域に有効な使い方が出来るような制度にしてほしいです。

A 地域振興補助金については、割と緩やかな制度として簡略化しています。限られた財源の中で、事業の有効性なども含め地域委員会で審査されています。

Q 公営住宅居住者に振興会へ参加してもらえませんか。なぜですか。これをどのように思われますか。

A 自治会組織をつくってほしいということはお願いしていますが、自主組織活動への参加を強要することは難しいことです。住みよい地域づくりを進められている自主組織の活動を目にされ、少しずつ活動への理解と参加を促すことが必要かと考えます。また、そういう方々と懇談する機会が必要だと思えますので、もしその機会があれば市からも参加していきたいと思えます。



A 補助金の見直しをここ2年間で実施してきています。指定管理者制度についても積極的に進めており、できるものは進めています。行財政改革を断行しなければ雲南市の財政はもたないのです、市民の皆さまにご負担いただくこともあるかと思いますが、ご協力をお願いします。

Q 財政悪化の原因は、合併したときに借金が多くなったためですか。

A 合併までは、6町村それぞれが同規模町村と比べ2倍の借金があり、これが合併により同規模の市と比べ3倍になりました。H16年に新たに借り入れて3倍になったのではなく6町村の合計がそうだったのであり、今後どんどん減らしていけないといけません。

Q 歳出削減とは、具体的にどのようなことをされますか。

